

# 認定 特定非営利活動法人 JET0 みやぎ 第 5 期 事業報告

(平成 27 年 5 月 1 日から平成 28 年 4 月 30 日まで)

作成日：平成 28 年 4 月 30 日

平成 23 年 5 月に株式会社清月記の菅原裕典社長を發起人に、「3.11 東日本大震災で両親を失った孤児の支援プロジェクト」として設立・スタートした「JET0 みやぎ」は、賛助会員、全国から多数のご寄付、そして理事会役員の方々に支えられ 5 期目も無事事業を完遂することができました。対象となる震災孤児も当初の 87 名から、5 期目 4 名のお子様は 20 歳を迎え、支援対象者は 61 名となりました。

本来 JET0 みやぎの「生活・教育支援金」は 19 歳までの給付となりますが、第 5 期は、大学等へ進学したお子様も希望者に限り支援をすることといたしました。震災から年月を重ねるごとに、お子様たちの中で、「しっかり勉強して社会貢献できる職に就くことが支援いただいた皆様への恩返しになる」という声を聞くようになりました。この声を大切にしたいという思いから、20 歳以上の進学者も対象とさせていただき、3 名の方より希望をいただきました。

従いまして、第 5 期は 64 名のお子様は「生活・教育支援金」を前期と同額の一律 15 万円を支給させていただきました。

また、JET0 みやぎは、物心両面からのサポートを活動内容としております。ご自宅にお伺いする訪問ヒアリングを実施し、保護者とお子様双方の話を伺い、良好なコミュニケーションが取れているか、報告書と現実との乖離がないか、また何か悩みや相談はないか等を確認させていただきました。拝見したご家庭は皆さん良好な家庭環境を築いていると感じました。JET0 みやぎからの給付金についてもお子様が進学に困らないように貯金をしているという家庭が多くありました。お子様の将来をしっかりと考えていると見受けられます。しかしながら、高齢の保護者の方には叱れない、お手伝いをさせない等、お子様のしつけに対して遠慮がまだあるとも感じました。この点については、今後もしっかりと観察していきたいと考えております。

第 5 期の新たな取り組みについてですが、企業様とのタイアップ事業の成功がございます。平成 27 年 8 月の東北楽天ゴールデンイーグルスのホームゲーム観戦を 2 社様より協賛いただきました。これまでの様々な企画は、JET0 被支援者のみの参加に限定しておりましたが、この企画は、お友達もお誘いくださいということでご案内いたしましたところ、多くのお子様より申し込みをいただきました。寄付とは異なった、新しい支援のカタチが見えた企画でもあり、今後もこのような支援のお申し出を頂戴した際には、積極的に検討していきたいと考えております。

寄付においても第 5 期は大きなご浄財を賜りました。東大寺・興福寺・薬師寺・唐招提寺・西大寺・法隆寺で構成されます「南都隣山会」様より 5 百万円、まけないタオルプロジェクト様から同じく 5 百万円を賜りました。

震災から 5 年という節目の時期と言われておりましたが、5 年経過し、今なお JET0 みやぎへの支援、関心は高まりを見せています。これもひとえにここにいらっしゃる皆様方のお声かけがあったことと存じます。

これからも JET0 みやぎは皆さまが安心して支援いただける団体、またそのように広めていただける団体として、そして、安心してお子様・保護者から頼っていただける団体として活動してまいります。